

# JSS F4 Scholarship Report

JSSスカラシップドライバー(FJからF4へのスカラシップ) 武平 良介選手のF4レース参戦レポート

2012年JAF地方選手権F4東日本シリーズ第1戦

大会名 もてぎチャンピオンカップ

期日 2012年3月25日

開催場所 ツインリンクもてぎ

参加台数 17台



昨年のS-FJ日本一決定戦で今年のJSSスカラシップドライバーに選出された武平 良介選手のF4デビューレースとなるF4東日本シリーズの開幕戦は”ツインリンクもてぎ”での開催で、参加台数は17台を数えた。

また、F4のコントロールタイヤは今年からダンロップ製に替わり、今回が初めてのレースとなる。

## ■公式予選 2位

天候は晴れ、ドライコンディションの中、公式予選は11時15分から20分間で行われた。

昨年までのF4の予選では、5~6ラップでタイムアタックを終えるのが通常だったが、今年、タイヤが替ったことで、周回を重ねてもタイム更新が可能になり、各車、時間いっぱいまでアタックを続ける姿が見られた。

武平選手もアタックを続けるが、最終ラップにはセクター1~3までファステストを更新し、デビュー戦でのポール獲得の期待が高まったが、最後のビクトリーコーナーで姿勢を乱してしまい、2番手で予選を終えることになった。

ポールポジションを獲得したのは、昨年の東日本シリーズで1勝をあげ、今回、安定した好タイムを連発した山口選手。

そして3番手には、昨年、S-FJで武平選手と競った中山選手が入った。

順位	車番	ドライバー	機種名	車名	タイム
1	7	山口 大陸	ZAP F108	TAIROKU EMS 108	1'53.049
2	14	武平 良介	ZAP F108	WebAqua ZAP JSS	1'53.208
3	3	中山 雅佳	ZAP F108	ZAP HITACHI 108	1'53.894
4	2	OSAMU	RK01	LEYJUN 筑波ガレージ RK01	1'54.075
5	51	加藤 正将	WEST006	エナジーフォース・マーズ 006	1'54.497
6	72	金井 亮忠	WEST056	チームNATS・正義 056	1'54.618

## ■決勝レース 優勝

決勝スタートは16時24分。スタートシグナルが消えると、上位陣は綺麗にスタートを決めて、ほぼ予選どおりの順位で1コースーになだれ込んで行った。先頭はポールの山口選手だ、ところが3コーナーで山口選手は少し膨らみタイヤをダートに落としてしまう。その隙を突いて武平選手が先頭に立った。山口選手もロスを最小限に抑え2位をキープ、3位には中山選手が続く、3台は接近戦となる様相だ。しかし3周目に中山選手にジャンプスタートの裁定が下され、ドライブスルー・ペナルティボードが表示された。これで3番手はOSAMU選手と加藤選手が争う展開となる。

トップの2台は後続を引き離し、一騎打ちの様相を呈しラップ毎にファステストラップを塗り替えながらのテールtoノーズの接戦が続いた。両者、車は同じZAP F108を使うが、そのセッティングにより、武平選手はストレートスピードに勝り、ダウンフォースに優れた山口選手はS字が速い。しかし、山口選手はS字で追いついてもバックストレートでのスピードに勝る武平選手を抜くには至らない。そんな両者共にミスの許されない接近戦が続いた。レースは最終ラップに入り、山口選手が勝負に出るか注目されたが、しかし、後続車両の90度コーナーでのスピンが危険個所に停止してしまった為に赤旗が提示され、レースはチェッカーを待たずに終了となった。

レース後、武平選手は今までで一番冷静にレース運びが出来た。と語るように。一度のミスも犯すことなくレースを走り切った。こうしてJSSスカラシップドライバーの武平選手はF4のデビューレースを見事に優勝で飾った。

順位	車番	ドライバー	機種名	車名	周回	タイム
1	14	武平 良介	ZAP F108	WebAqua ZAP JSS	10	19'07.826
2	7	山口 大陸	ZAP F108	TAIROKU EMS 108	10	19'08.157
3	72	金井 亮忠	WEST056	チームNATS・正義 056	10	19'22.708
4	2	OSAMU	RK01	LEYJUN 筑波ガレージ RK01	10	19'25.009
5	51	加藤 正将	WEST006	エナジーフォース・マーズ 006	10	19'25.533
6	4	佐々木 祐一	WEST006	仙台 DayDream&CMS	10	19'36.773